

コロナ禍での原発事故の避難者受け入れ等に関する 質問・要望書

川西市長 越田 謙治郎 様

日頃は川西市民の安全のためにご尽力いただきありがとうございます。また、原発事故時の避難者受け入れ先として、多くの仕事を抱えられていることと思います。

8月27日に福井県で、全国で初めて、コロナ禍での原発事故を想定した防災訓練が実施されました。私たちは訓練を視察しました。別紙の「視察報告」[資料1]にまとめていますように、「3密を避ける」という感染症対策と、原発事故時の避難を両立させることはほとんど不可能だと実感しました。訓練では避難者はわずか30名という小規模なものでしたが、それでもバスは4台必要で、バスでの移動や避難所でも「密」をさける必要があります。30km圏内（UPZ）の住民が避難する事態になれば、バスや避難所が不足すること等は目に見えています。

また、10月12日には、川西市とともに、おおい町の避難先である伊丹市に申入れを行いました。感染症対策のためには、避難所は約2倍必要となり、濃厚接触者等の部屋も確保できていない状況でした。伊丹市は、避難所の数等について、兵庫県やおおい町・福井県と協議していきたいと表明しました。

10月22日には、おおい町に申入れを行いました。コロナ禍では避難所スペース等に課題あると認めながら、具体的には何も決まっていませんでした。10月19日に、伊丹市から市長付参事を含め5名の担当職員がおおい町を訪問し、コロナ禍の避難等について情報を共有したとのことでした。

今回は、8月の訓練の状況も紹介します。おおい町住民の受け入れ先として、コロナ禍での避難者受け入れが可能なのか、具体的にご検討ください。

福島原発事故からまもなく10年になろうとしています。いまだ廃炉の目途もたたず、国も東京電力も事故の責任を認めようとはしません。住民はふるさとを奪われ、困難な生活を強いられています。

11月3日から、関電の原発は全て止まっています。それでも電気は足りています。他方で関電は、40年超えの老朽原発美浜3号を来年1月に再稼働する計画を発表しています（高浜1号は来年3月、高浜2号は来年5月）。原発事故を二度と繰り返さないためにも、とりわけ避難が困難なコロナ禍では、危険な老朽原発（美浜3号、高浜1・2号）の再稼働に反対を表明してください。

以下の要望と質問にご回答をお願いします。

要 望 事 項

1. コロナ禍で原発事故避難者を受け入れることは非常に困難です。感染症対策と原発防災について、避難元のおおい町や福井県、兵庫県等と、避難所の数、バスの数等具体的に協議してください。

2. コロナ禍での受け入れは困難なため、少なくともコロナ禍では原発の運転を止めるように表明してください。とりわけ40年超えの老朽原発（美浜3号、高浜1・2号）の再稼働に反対を表明してください。

質 問 事 項

1. コロナ禍での避難者受け入れについて

川西市は原発事故時には、おおい町の大島地区（約 720 名）と佐分利地区（1,460 名）本郷地区（約 1,630 名）から、約 3,800 名の住民を受け入れることになっています。川西市の 19 か所の小中高校が避難所となっています〔資料 2〕。

感染症が蔓延する状況での避難所について、福井県は「新型コロナウイルスに備えた避難所運営の手引き（概要版）」〔資料 3〕で、避難者スペースは一人 4 m²、前後左右に 2 m 幅の通路を設けること等を定めています。

8 月 27 日の福井県訓練では、避難所となった敦賀市のプラザ萬象小ホールは、通常座席数 400 名の部屋ですが、20 数名の避難者スペースを確保するのがやっとでした。

感染症対策を考慮すれば、避難所の数を増やす必要があります。

(1) 8 月 27 日の福井県防災訓練について、おおい町や福井県等から連絡はありましたか？

(2) 感染症対策を考慮した場合、現在の避難所 19 か所では足りないのではないのでしょうか？

(3) 新たに避難所を確保できるのでしょうか？

(4) 8 月 27 日の福井県訓練では、「濃厚接触者」と「感染疑いありの者」は、一般の住民とは別室で、和室等を避難所としていました。避難所への入り口も、別のルートで和室に入るようになっていました。川西市で受け入れる場合も、これらを考慮する必要がありますが、検討・準備は出来ていますか？

(5) 「濃厚接触者」と「感染疑いありの者」は、食事やトレイも一般住民とは別になります。そのような準備は可能でしょうか？

(6) 以上の点だけからでも、コロナ禍に原発事故避難者を受け入れるのは困難ではないでしょうか？

(7) コロナ禍での避難受入が十分ではないことを、避難元のおおい町に伝えるべきではないでしょうか？

2. 前回の申し入れで未回答になっていた事項について

2019 年 2 月 5 日の申入れの際に、次の事項について改めて回答を頂くことになっていました。ご回答をお願いします。

(1) スクリーニング場所の綾部 P A から出るときに、「再度検査することになっている」と福井県から聞いているが、どこで行うのか聞いていないとのことでした。福井県に尋ねましたか？回答はありましたか？

(2) 入口と出口が同じで、バス・自家用車を除染してもまた汚染するため、綾部 P A については「改善してほしいと福井県とおおい町に伝える」とのことでしたが、その結果はいかがでしたか？

- (3) 危険区域にある 2 か所の避難所（市立多田小学校、市立川西小学校）については、おおい町に伝えることになっていましたが、その結果どうになりましたか？
代わりの避難所を検討したいということでしたが、決まりましたか？
- (4) 三木総合運動公園等の「車両一時保管場所」での乗り換えバスは、避難元と避難先のどちらが準備するか確認できましたか？コロナ禍の検討は進んでいますか？
- (5) おおい町の在宅の要援護者で、川西市が受け入れる人数は何人が確認できましたか？
- (6) 「安定ヨウ素剤の I A E A の服用基準を超えるシミュレーションが出ているのに、備蓄も必要なしとしている点について兵庫県に確認する」とのことでした。その結果はいかがでしたか？

資料 1 : 8 月 27 日福井県防災訓練の視察報告

http://www.jca.apc.org/mihama/bousai/kunren_rep_syosai20200827.pdf

資料 2 : 「原子力災害時における住民避難計画」おおい町より 24・25 頁

http://www.town.ohi.fukui.jp/bousai/6600/p13360_d/fil/0000000199_0000007565.pdf

資料 3 : 「新型コロナウイルスに備えた避難所運営の手引き（概要版）」福井県 2020 年 9 月改定

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kikitaisaku/hinanjotebiki_d/fil/tebikigaiyou.pdf

2020 年 11 月 13 日

避難計画を案ずる関西連絡会



連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/

脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会

この件の連絡先:美浜の会:大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3 階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581